

令和6年産 津之輝栽培暦 [結果樹]

令和6年1月作成

月	旬	生育相	主要管理	防除方法		栽培管理上の注意
				対象病虫害	防除薬剤・希釈倍数	
1	上	樹勢回復期	整枝・せん定 防風垣整備 土壌改良資材施用	かいよう病	ICボルドー66D 50倍	<ul style="list-style-type: none"> 高くなりすぎた防風垣は、受光体勢が悪化して光合成低下を招くため、刈り込みを行う。 土壌分析を行い、土壌改良資材を適宜施用する。 弱樹勢園は、落葉を助長するため、スプレーオイルの散布を控える。
	中				ミカンハダニ【萌芽前】 かいよう病【萌芽期】 そうか病	
2	中	発芽期	施肥(春肥)	ムッシュボルドーDF 500倍 加用クレフノン 200倍 デランフロアブル 1,000倍		<ul style="list-style-type: none"> デランフロアブルとコサイド3000の散布間隔は、3日以上空ける。 新梢の発生・伸長期には、ミカンハモグリガやアブラムシ類が発生し、新葉を加害する。加害痕からのかいよう病発生を防ぐため、下欄の薬剤一覧から選択してローテーションで散布する。 カンキツグリーニング病対策は、欄外「ミカンキジラミの防除」を参照する。 防風垣でイヌマキを利用している園はキオビエダシヤクが発生するため、トレボン乳剤4,000倍を幼虫発生初期に散布する。
	下				【開花直前】 かいよう病	
3	上	開花期	枯枝除去(4月~9月)	【開花期】 訪花害虫・ミカンキジラミ	アクタラ顆粒水溶剤 2,000倍	<ul style="list-style-type: none"> 赤衣病発生時は被害枝を早急に除去し、ゆ合促進にバッチレートを塗布する。 赤衣病対策も含め、ゴマダラカミキリ成虫を速やかに捕殺し、下草管理も徹底する。 スプレーオイルの散布は梅雨明けまでとし、薬害の恐れがあるため高温時の散布は避ける。 ゴマダラカミキリによる木くず発見時は、食入痕から針金を用いた刺殺または園芸用キンチョールEを注入する。 昨年ハダニ・サビダニ類が多発した園は、今年も発生する可能性が高いため防除を検討する。 台風通過後は、6時間(遅くとも10時間)以内に散水(1.5t/10a)し、潮害対策を行う。
	中				【落弁期】 そうか病・黒点病・灰色かび病	
4	中	落弁期	生理落果期	【落弁期】 そうか病・黒点病・赤衣病	コサイド3000 2,000倍 加用クレフノン 200倍	<ul style="list-style-type: none"> 赤衣病発生時は被害枝を早急に除去し、ゆ合促進にバッチレートを塗布する。 赤衣病対策も含め、ゴマダラカミキリ成虫を速やかに捕殺し、下草管理も徹底する。 スプレーオイルの散布は梅雨明けまでとし、薬害の恐れがあるため高温時の散布は避ける。 ゴマダラカミキリによる木くず発見時は、食入痕から針金を用いた刺殺または園芸用キンチョールEを注入する。 昨年ハダニ・サビダニ類が多発した園は、今年も発生する可能性が高いため防除を検討する。 台風通過後は、6時間(遅くとも10時間)以内に散水(1.5t/10a)し、潮害対策を行う。
	下				【梅雨前】 かいよう病・黒点病 そうか病・黒点病・赤衣病	
5	上	生理落果期	施肥(夏肥)	カイガラムシ類 ゴマダラカミキリ	トランスフォームフロアブル 2,000倍	<ul style="list-style-type: none"> 赤衣病発生時は被害枝を早急に除去し、ゆ合促進にバッチレートを塗布する。 赤衣病対策も含め、ゴマダラカミキリ成虫を速やかに捕殺し、下草管理も徹底する。 スプレーオイルの散布は梅雨明けまでとし、薬害の恐れがあるため高温時の散布は避ける。 ゴマダラカミキリによる木くず発見時は、食入痕から針金を用いた刺殺または園芸用キンチョールEを注入する。 昨年ハダニ・サビダニ類が多発した園は、今年も発生する可能性が高いため防除を検討する。 台風通過後は、6時間(遅くとも10時間)以内に散水(1.5t/10a)し、潮害対策を行う。
	中				【開花期】 訪花害虫・ミカンキジラミ	
6	上	果実肥大期	粗摘果	黒点病・赤衣病・黄斑病	ジマンダイセン水和剤 600倍	<ul style="list-style-type: none"> 赤衣病発生時は被害枝を早急に除去し、ゆ合促進にバッチレートを塗布する。 赤衣病対策も含め、ゴマダラカミキリ成虫を速やかに捕殺し、下草管理も徹底する。 スプレーオイルの散布は梅雨明けまでとし、薬害の恐れがあるため高温時の散布は避ける。 ゴマダラカミキリによる木くず発見時は、食入痕から針金を用いた刺殺または園芸用キンチョールEを注入する。 昨年ハダニ・サビダニ類が多発した園は、今年も発生する可能性が高いため防除を検討する。 台風通過後は、6時間(遅くとも10時間)以内に散水(1.5t/10a)し、潮害対策を行う。
	下				【落弁期】 そうか病・黒点病・赤衣病	
7	上	台風対策摘果	台風対策摘果	黒点病・赤衣病・黄斑病	コサイド3000 2,000倍 加用クレフノン 200倍	<ul style="list-style-type: none"> 赤衣病発生時は被害枝を早急に除去し、ゆ合促進にバッチレートを塗布する。 赤衣病対策も含め、ゴマダラカミキリ成虫を速やかに捕殺し、下草管理も徹底する。 スプレーオイルの散布は梅雨明けまでとし、薬害の恐れがあるため高温時の散布は避ける。 ゴマダラカミキリによる木くず発見時は、食入痕から針金を用いた刺殺または園芸用キンチョールEを注入する。 昨年ハダニ・サビダニ類が多発した園は、今年も発生する可能性が高いため防除を検討する。 台風通過後は、6時間(遅くとも10時間)以内に散水(1.5t/10a)し、潮害対策を行う。
	中				【台風前】 かいよう病	
8	上	摘果	摘果	黒点病	ジマンダイセン水和剤(収穫90日前まで:4回以内) 600倍	<ul style="list-style-type: none"> 赤衣病発生時は被害枝を早急に除去し、ゆ合促進にバッチレートを塗布する。 赤衣病対策も含め、ゴマダラカミキリ成虫を速やかに捕殺し、下草管理も徹底する。 スプレーオイルの散布は梅雨明けまでとし、薬害の恐れがあるため高温時の散布は避ける。 ゴマダラカミキリによる木くず発見時は、食入痕から針金を用いた刺殺または園芸用キンチョールEを注入する。 昨年ハダニ・サビダニ類が多発した園は、今年も発生する可能性が高いため防除を検討する。 台風通過後は、6時間(遅くとも10時間)以内に散水(1.5t/10a)し、潮害対策を行う。
	中				【台風前】 かいよう病	
9	上	着色期	鳥獣害対策 仕上げ摘果	黒点病	ストロビードライフロアブル 2,000倍	<ul style="list-style-type: none"> 赤衣病発生時は被害枝を早急に除去し、ゆ合促進にバッチレートを塗布する。 赤衣病対策も含め、ゴマダラカミキリ成虫を速やかに捕殺し、下草管理も徹底する。 スプレーオイルの散布は梅雨明けまでとし、薬害の恐れがあるため高温時の散布は避ける。 ゴマダラカミキリによる木くず発見時は、食入痕から針金を用いた刺殺または園芸用キンチョールEを注入する。 昨年ハダニ・サビダニ類が多発した園は、今年も発生する可能性が高いため防除を検討する。 台風通過後は、6時間(遅くとも10時間)以内に散水(1.5t/10a)し、潮害対策を行う。
	中				【台風前】 かいよう病	
10	上	夏秋梢整理	樹上選果	ミカンハダニ・ミカンサビダニ	ベフトップジンフロアブル 1,500倍	<ul style="list-style-type: none"> 赤衣病発生時は被害枝を早急に除去し、ゆ合促進にバッチレートを塗布する。 赤衣病対策も含め、ゴマダラカミキリ成虫を速やかに捕殺し、下草管理も徹底する。 スプレーオイルの散布は梅雨明けまでとし、薬害の恐れがあるため高温時の散布は避ける。 ゴマダラカミキリによる木くず発見時は、食入痕から針金を用いた刺殺または園芸用キンチョールEを注入する。 昨年ハダニ・サビダニ類が多発した園は、今年も発生する可能性が高いため防除を検討する。 台風通過後は、6時間(遅くとも10時間)以内に散水(1.5t/10a)し、潮害対策を行う。
	中				【台風前】 かいよう病	
11	上	果実成熟期	収穫	貯蔵病害	ベフトップジンフロアブル 1,500倍	<ul style="list-style-type: none"> 赤衣病発生時は被害枝を早急に除去し、ゆ合促進にバッチレートを塗布する。 赤衣病対策も含め、ゴマダラカミキリ成虫を速やかに捕殺し、下草管理も徹底する。 スプレーオイルの散布は梅雨明けまでとし、薬害の恐れがあるため高温時の散布は避ける。 ゴマダラカミキリによる木くず発見時は、食入痕から針金を用いた刺殺または園芸用キンチョールEを注入する。 昨年ハダニ・サビダニ類が多発した園は、今年も発生する可能性が高いため防除を検討する。 台風通過後は、6時間(遅くとも10時間)以内に散水(1.5t/10a)し、潮害対策を行う。
	中				【台風前】 かいよう病	
12	上	施肥(礼肥)	施肥(礼肥)	貯蔵病害	ベフトップジンフロアブル 1,500倍	<ul style="list-style-type: none"> 赤衣病発生時は被害枝を早急に除去し、ゆ合促進にバッチレートを塗布する。 赤衣病対策も含め、ゴマダラカミキリ成虫を速やかに捕殺し、下草管理も徹底する。 スプレーオイルの散布は梅雨明けまでとし、薬害の恐れがあるため高温時の散布は避ける。 ゴマダラカミキリによる木くず発見時は、食入痕から針金を用いた刺殺または園芸用キンチョールEを注入する。 昨年ハダニ・サビダニ類が多発した園は、今年も発生する可能性が高いため防除を検討する。 台風通過後は、6時間(遅くとも10時間)以内に散水(1.5t/10a)し、潮害対策を行う。
	中				【台風前】 かいよう病	

奄美つのがやきのポテンシャルを発揮して新たな産地育成に努めよう!

基幹防除...発生を抑えるため、できるだけ防除に努めましょう。
補完防除...発生状況をみながら、必要に応じて防除しましょう。

令和5年11月28日現在の登録内容を記載

<施肥基準：10a当たり施肥量>

時期・種類	収量	10a当たり収量			
		1,000kg	1,500kg	2,000kg	2,500kg
12月下旬	奄美果樹配合(8-8-5)または蜜のめぐみ2号(8-3-3)	60 kg	80 kg	100 kg	120 kg
		(3袋)	(4袋)	(5袋)	(6袋)
2月下旬	同上	60 kg	80 kg	100 kg	120 kg
		(3袋)	(4袋)	(5袋)	(6袋)
6月上旬	同上	30 kg	40 kg	50 kg	60 kg
		(1.5袋)	(2袋)	(2.5袋)	(3袋)

<農薬散布時の留意点>

- 風向きや風速に注意し、対象作物以外への飛散防止に努める。(飛散の恐れがある近隣栽培者には連絡をとって実施する)
- 規定の範囲内で樹冠に対して十分量の薬液散布を心がける。(特に、殺虫剤・殺ダニ剤は散布ムラがないように丁寧に行う)

<ミカンハモグリガの防除薬剤>

薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	備考
アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫14日前	3回	材ニコノイト(アブラムシ)
ダントツ水溶剤	2,000倍	収穫前日	3回	材ニコノイト(アブラムシ)
モスピラン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫14日前	3回	材ニコノイト(アブラムシ)
カスケード乳剤	2,000倍	収穫7日前	2回	IGR
スピノエースフロアブル	4,000倍	収穫7日前	2回	SE/ジシ
エクシレルSE	5,000倍	収穫前日	3回	ジアミド
フェニックス顆粒水和剤	4,000倍	収穫前日	2回	ジアミド

<ミカンキジラミの防除薬剤> カンキツグリーニング病対策

薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	備考
アドマイヤー顆粒水和剤	5,000倍	収穫14日前	3回	材ニコノイト

- ★園地周辺のゲッキツは伐採する。
- ★発生疑われる樹があった場合は、関係機関に連絡する。

<サビダニ類の防除薬剤>

薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	備考
コテツフロアブル	4,000倍	収穫前日	2回	リュウキュウミカンサビダニ
ダニエモンフロアブル	4,000倍	収穫7日前	1回	ハダニ同時防除可
カネマイトフロアブル	1,000倍	収穫7日前	1回	ハダニ同時防除可

県園芸振興協議会大島支部

連絡先 大島支庁農林水産部農政普及課：0997-57-7274
同 瀬戸内町駐在：0997-72-0184 同 喜界町駐在：0997-65-3019